

15)

変形性膝関節症に対する防己黄耆湯の効果 (レ線分類との関連性を中心として)

長野県厚生連リハセンター整形外科、東洋医学科

○浅地 徹、泉 従道

目的 防己黄耆湯の変形性膝関節症に対する効果をレ線ステージ分類的に検討する。

対象・方法 当院外来・入院患者30名を対象として1次性変形性膝関節症で明らかな炎症のない(熱感・発赤を認めない)患者にジュンコウ防己黄耆湯エキス6.0gを6週間以上投与し①安静時痛、運動痛などの自覚症状。②圧痛、運動制限、関節水腫などの他覚所見。③膝関節評価表(三大学試案)。④腰下肢重い、易疲労性、自汗などの随伴症状の推移を2週毎に検討した。ステージ分類は膝関節立位正面レ線像を基に高橋らの分類を参考に5段階に分けた。

結果 30症例の性別は男7名、女23名、平均年齢は67.7才である。

30症例50関節のレ線ステージはStage Iが1関節、IIが8関節、IIIが21関節、IVが15関節、Vが5関節であった。

投与2週目、著効9関節(Stage I-1、II-2、III-2、IV-3、V-1)。

有効17関節(Stage II-3、III-10、IV-4)。

不変24関節(Stage II-3、III-9、IV-8、V-4)。

投与4週目、著効14関節(Stage I-1、II-2、III-6、IV-4、V-1)。

有効13関節(Stage II-4、III-7、IV-1、V-1)。

不変21関節(Stage II-2、III-8、IV-8、V-3)。

悪化2関節(Stage IV-2)。

投与6週目、著効16関節(Stage I-1、II-2、III-8、IV-4、V-1)。

有効13関節(Stage II-4、III-5、IV-3、V-1)。

不変21関節(Stage II-2、III-8、IV-8、V-3)。

また肥満率15%以下の14症例20関節では著効10(50%)、有効7(35%)、不変3(15%)であったが、15%超の16症例30関節では著効6(20%)、有効6(20%)、不変18(60%)であった。

結論 レ線Stageの高い程有効率が低い、また有効例は投与2週ではほぼ判定可能である。肥満率15%超では有効例が少ない。